

# 楽楽 文楽 塾

## 人形編

### 講師 森西 真弓 さん

(大阪樟蔭女子大学 学芸学部国文学科教授)

専門は、日本芸能史・上方伝統芸能・近代日本演劇。2009年には、「天覧文楽」で皇后陛下のご説明役を務める。主著に『上方芸能の魅惑——鷹治郎・玉男・千作・米朝の至芸』（2003年・NHK出版）、『吉田玉男文楽藝話』（共著・2007年・日本芸術文化振興会）、『上方芸能事典』（編著・2008年・岩波書店）がある。



### 【ゲスト】吉田 一輔 さん

(人形浄瑠璃文楽座 人形)



昭和44年生まれ。昭和58年、父、桐竹一暢に入門、桐竹一輔と名乗る。祖父は四世桐竹亀松。昭和60年、国立文楽劇場で初舞台。平成16年、三代吉田裳助門下となり、吉田姓を名乗る。平成21年、第28回国立劇場文楽賞文楽奨励賞受賞。平成21年、咲くやこの花賞（演劇・舞踊部門）受賞。平成22年、国立文楽劇場における「妹背山婦女庭訓」主演、お三輪を演じ大阪文化祭賞奨励賞を受賞。

2016年

9月30日【金】

13:30 ▶ 15:30

(12:45より受付)

### 会場

三重県文化会館 小ホール

### 受講料

500円

※当日受付にてお支払いください。

### 募集人数

150名

※事前申込制・先着順

### 申込方法

電話・郵送・FAX・Eメール  
ホームページ・センター窓口

文楽は関西を代表する古典芸能です。浄瑠璃と呼ばれる語り物音楽に合せ、三人の人形遣いによって操られる人形が、さながら生きた人間のように登場人物たちの喜怒哀楽を表現します。ご当地松阪の国学者・本居宣長も若き日、京都遊学中に何度も舞台に親しみました。今回は名作者である近松門左衛門の経歴や代表作、作劇法をご紹介した後、技芸員による実際の人形を用いた操作法の説明と実演を交えて、文楽の世界へご案内いたします。

申込・問合先

ME CENTER FOR THE ARTS  
三重県総合文化センター（公財）三重県文化振興事業団

三重県生涯学習センター

（3階事務室）

tel.059-233-1151 / fax.059-233-1155

三重県学習

検索

インターネットで探すなら

■〒514-0061 津市一身田上津部田1234

■E-mail: manabi-kouza@center-mie.or.jp

■ホームページ: http://www.center-mie.or.jp/manabi/

■休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)

■開館時間: 9:00 ~ 19:00